中日新聞　世界の動き　身近な話題
中日新聞

畳・ふすま・障子・網戸・クロス
へりなし畳・内装リフォームのことなら
安心の「ツノダ」へお任せ
お部屋の模様には、張替えと襖戸の張替えがオススメします！
愛知県畳組合加盟店
ツノダ有　検索
HP tatami-t.co.jp
〒463-0026 名古屋市守山区新町706
TSUNODA 有限会社
0120-81-1984

守山ホームニュース
発行所 守山ホームニュース　〒463−0007 名古屋市守山区松坂町352　☎052(758)0351
守山ホームニュース 検索　http://www.m-hn.com　発行部数 62,500部

地域密着・効率的な広告はいかがですか？
詳しくはホームページをご覧ください!!
守山ホームニュース　検索
〒463-0007 名古屋市守山区松坂町352
TEL.758-0351 FAX.758-0353

〝作業〟激減で「萠作業所」も困った

ここにも新型コロナウイルス感染拡大の影響

心に病のある人らが生きがいづくりなどで通う「萠作業所」＝菱池町＝では、利用者の生活の支えになる〝作業〟が新型コロナウイルス感染拡大の影響から激減した。同施設の関係者は「うちだけではなく、作業所はみんな困っていると思う」と話している。

こつこつこなす作業が得意

萠作業所は一九九三（平成五）年、地域の家族会により小規模作業所として設立。社会福祉法人の認可を二〇〇四（同十六）年に受けて小規模通所授産施設となり、その五年後に〔雇用形態を持たずに働く場所を提供する〕就労継続支援B型の事業所へ移行した。

現在は二十～四十代の男女十八人が通所・利用して作業を行っているほか、趣味を増やそうとする健康体操や音楽療法などに参加。作業に携わった分は時給で算定され、工賃として月一回受け取っている。

同施設が受注している作業は通常、菓子の箱折りやノベルティグッズの総包装など九種。最近では発注元の「売れない」一注文が入らないの声も聞かれるようになり、受注量は二割以下に減っているという。

いまのところクリエーションや掃除の時間を増やすなどで対応しているが、「作業がないから」と長く休んでいる利用者もいるなかで、「社会に必要とされていると感じることが、利用者にとってはとても大切なんです」と話すのは同施設で精神保健福祉士を務める大野亜紀子さん。

また同施設では、旅行など人の移動が始まれば作業は増えるはず…と希望的観測をしているが、「うちだけではなく、作業所はみんな困っていると思う」と大野さん。「利用者の生活があるから、この施設は閉められない」とも。

行う作業は小ロットから大ロットまで幅広く対応しており、特にこつこつとなしていくような内容が得意とのこと。

出張内職も行っているほか、「お近くの作業所としてなくこと（マッチング）もさせていただきますので」と呼び掛けている。

問い合わせは萠作業所＝☎052（793）8338＝へ。

「仕事があるとうれしい」―菓子の箱折りに励む利用者ら

私たちの学校

地域に見守られている学校

小幡北小学校
小幡北一八〇一

【歴史】一九八五（昭和六十）年、小幡・白沢両学区の一部の分離・統合により小幡北小が開校。当時の児童数は六百五十一人で、現在は三百六十三人が学んでいる。

【特色】「地域に見守られている学校です」と中村忍校長。

毎月二十日には、PTAをはじめとした地域の人が通学路などで子どもの安全を見守っている。この活動は、マレー語で散歩を意味する言葉から「ジャランジャラン隊」と名付けられ、登下校時以外にもあいさつや声掛けを行うなど、十五年以上も続けられている。

【取り組み】学校教育目標の重点項目の一つに「ジャランジャラン隊」と名付けられ、登下校時以外にもあいさつや声掛けを行うなど、十五年以上も続けられている。

子どもたちと職員の合作―花や野菜などの花壇が並ぶ

あいさつ運動は毎月の十日を含む週の五日間、登校時に実施。児童会役員と先生が一緒に校門に立って、子どもたちへの声掛けを行っている。

また、地域の人らボランティア「太陽の会」が毎月第一水曜、朝学習の時間に本の読み聞かせを開催。みんなで楽しみながら読書に親しもうとする試みがなされている。

【校長先生から小幡北小の子どもたちへメッセージ】もいやりがあり、友だちのために合わせて考え、友だちと対話しながら学習でき、友だまりを守り、たくましい心と体を持つ子になってください。

地域に貢献と生きがいづくり

小幡北小などにマスク1000枚贈る

緑寿荘と「つなしょ」が連携・協力

プレゼントするものだからきちんと…。布を裁断する女性入居者ら

緑寿荘とつなしょの人らが小幡北を訪れ、鬼頭御堂教頭（左）へマスクを手渡した

地域貢献と生きがいづくりを―。老人ホーム・名古屋市緑寿荘＝緑ケ丘＝の女性入居者十二人が、このほど布マスク千枚を作り上げ、〝お隣〟の小幡北小学校へ贈るなどした。

同荘が地域貢献として行ってきたもので、ボランティア団体「小幡緑地冒険遊び場の会」運営のコミュニティスペース「つなしょ」＝緑ケ丘＝が連携・協力。つなしょは、赤い羽根共同募金会の緊急助成金で布などを購入し、生きがいづくりの一つにしてもらえればと創作依頼した。

四月上旬、同荘内での募集に裁縫好きな女性入居者が応え、マスク作りを開始。自由時間を利用しながら、裁断した布を手やミシンで縫製し、ゴムひもを通した後に検品、透明な袋に入れた。また「お役に立ちましたら幸いです」など、それぞれが手書きしたメッセージのコピーも同封し、目標にしていた千枚を二カ月弱で仕上げた。

小幡北小へは児童用と先生用、大小サイズ合わせて五百枚を寄贈。もう半分はつなしょを訪れる子どもに配られたほか、「こども食堂ネットワーク」（事務局・東京）を通じて全国の子ども食堂へ届けられた。

外出自粛の期間をマスク作りに生かした女性入居者たちからは「全ての作業が終わった時は感慨深かった」や「私のような老人でも子どもたちの役に立てるなんて思ってもみなかった」「今度はお手玉作りをしてみたい。子どもたちも喜んでくれると思うので」といった感想が聞かれた。

同荘どうしとつなしょのつながりは三年ほど前から。同荘には、小幡緑地本園の清掃などを行うボランティアグループ「親緑の会」があり、そのメンバーがつなしょの店番を手伝ったことで連携・協力が始まった。

モリスちゃんらキャラ9人が出演

「新しい生活様式」紹介動画を公開

新型コロナウイルス感染拡大を防ごう！。名古屋市内九区のマスコットキャラクター出演、「新しい生活様式」を紹介する動画が、市ウェブサイト「なごや動画　まるはっちゅーぶ」で公開されている。

市内複数区のマスコットキャラクター協働による動画発信は、初の試み。出演したのは守山区のモリスちゃんをはじめ、ショウちゃん（昭和）、こあらっちゃん（千種）、キタッコ（北）、みずほっぺ（瑞穂）、ナッピー（中川）、ミオーン（南）、みどりっち（緑）、かぼっち（天白）の九人。

撮影は昭和区役所で先月中旬に行われ、マスコットキャラクターたちがマスク姿を見せたり、体を密着に動かして熱演した。現在「感染予防の基本編」「スポーツ編」「食事編」の三本を公開中。新しい生活様式の下でどう過ごせばいいのかなど、分かりやすく紹介している。

「親子で一緒に楽しみながら学んでもらえれば」と守山区役所の担当者。視聴は市ウェブサイト「なごや動画　まるはっちゅーぶ」（「まるはっちゅーぶ」で検索）の「4ch 安心・安全・防災」から。

モリスちゃん（左から2人目）ら各区の〝キャラ〟が熱演

乱打戦制した志段味東が優勝

区学区対抗実年ソフトボール大会

「守山区学区対抗実年ソフトボール大会」が先月二十一日、守山区役所ソフトボール場で開かれた。

五十歳以上のメンバーによる学区チーム対抗戦で、三十三回目、ことし九月に天白区で開催「名古屋市実年ソフトボール交歓大会」の出場チームを決める予選会も兼ねて行われた。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で練習ができなかったこともあり、ことしの大会は一チームのみ参加。志段味東と日軒家が対戦し、乱打戦の末に18―10で志段味東が勝利した。

お店のオープン、セール、求人など
チラシ折込
効果的な折り込みのご提案いたします
株式会社 中日総合サービス
https://chunichi.nagoya/

守山区ボランティア連絡協議会

仲間と共に― グループ紹介

この記事に関する問い合わせは同協議会事務局☎・ファクス052（796）0227へ

点訳グループ「くすのき会」

1995年発足　前田さよ子代表

守山区社会福祉協議会（アクロス小幡）2階のボランティアルームと点字室を活動場所にして、情報などいろいろなものの点訳を行っています。

具体的には、新聞や雑誌の記事の中から「興味深いもの」「生活に役立つもの」などを選んで抜粋し、点訳ソフトを使って入力。読者宅へ毎月2回、郵送でお届けしています。

また、会議の議事録や歌の歌詞といったものも点訳しているほか、歌詞だけでなく楽譜の入力を行う場合もあります。

時々、読者の方から記事の感想やリクエストなどが寄せられることもあり、点訳ボランティアとしての活動に大きな喜びを感じています。

ボランティア「守山つくしの会」

1993年発足、会員8人　長谷川里子代表

ボランティア「守山つくしの会」は、地域の精神障がい者の活動拠点として27年前に設立された「萠作業所」＝菱池町＝を手伝うために発足しました。また、利用者さんたちが楽しく通所できるよう、昼食作りを始めました。

いまも昔も家庭料理が中心ですが、新聞やテレビで見掛けたりすると「こんな料理があったよ」などと新しいメニューも取り入れ、みんなで和気あいあいと楽しくやっています。

私たちの会も年月を重ね、いい年の皆さまがいらっしゃる方がいらっしゃったら、一緒にいかがですか？

守山おもちゃ病院「どんぐり」

1998年発足、会員15人　岡崎明代表

発足から20年以上、壊れたおもちゃを無料（交換した部品は実費）で修理しています。思い入れが深いであろうおもちゃを直せたとき、特に子どもたちやお年寄りの方々に喜んでいただいています。

最近のおもちゃはマイコンを使用したものが多く、修理にてこずります。また、ラジコン電波の高周波化（MHz帯から6GHz帯へ）や小型化されていることもあり、それらに早く確実に対応できるよう、工具や測定器を自作しています。

一人でできることには限界があるため、他の仲間やグループと情報交換をしながらレベルアップを図り、「年寄りの暇つぶし」といわれないようにこれからも頑張っていきます。

令和2年度 第20期
秋の着付け教室生徒募集
＼ 9月上旬よりスタート ／
初心者の方向けのコースです
簡単に綺麗をモットーに！
全12回の受講で初心者の方でも、楽しい和服ライフを！
1クラス10名までの少人数制で、着付士の目が隅々まで行き届き好評
着物を気軽に着れるようになりたい。そんなお客様の声から始まった着付け教室も早いもので20期を迎えることになりました。春コースと秋コースで行う着付け教室は、ひと月に3回～4回の無理のない日程で、1回の受講時間が約2時間、全12回の受講で4ヶ月行っております。1回の受講料がお手軽な1，000円という価格も魅力です。
コース 4ヶ月間 計12回
① 火曜日 10:30～／13:30～
説明会日時 8月25日(火)10:30～
② 土曜日 10:30～
説明会日時 8月29日(土)10:30～
場所 清水屋藤ヶ丘店 5階着付け教室
受講料 12,000円（税込）〈1,000円×12回〉
ご持参いただく物 顔写真（タテ4cm×ヨコ3cm）・筆記用具
募集期間 令和2年8月24日(月)まで
講師／堀 友子
着物で遊びに出掛けるイベントも
清水屋では、着物で遊びに出掛けるイベントも企画しております。着付け教室の中でお友達を作っていただき、着物姿で気軽にお昼のランチにお出かけなどは如何でしょうか。いつもと違った自分をコーディネートしてみては・・・是非この機会に清水屋の着付け教室をご利用ください。

きもののお直し きものクリニック
何でもお気軽にご相談ください!!
すべて職人の手作業です
他店で購入した着物でも安心ください。
6月限定価格の特別価格!!
期間 7月17日(金)～19日(日)／24日(金)～26日(日)
場所 清水屋藤ヶ丘店 3階呉服売場
サイズ直し　お仕立て直し　染め・染め替え　洗い張り　しみ抜き・丸洗い
●日生地からの染め（無地染め、型染め）
●紋入りの洗手になった着物をおとないい色に…
●使わなくなった羽織などから名古屋帯やバッグに
●体型が変わった着物の身巾直し
●お母様の着物をお嬢さん用に染め、仕立て直し など
浸抜き・丸洗い
着物 ㎡8,800円 → 7,000円（私会員 7,700円）
長襦袢 ㎡7,200円 → 5,500円（私会員 6,050円）
袋帯 ㎡5,600円 → 4,000円（私会員 4,400円）
ご予約・お問い合せ先
清水屋藤ヶ丘店 3F呉服売場
052-773-6199
呉服売場直通
SHIMIZUYA
藤ヶ丘
営業時間/10:00AM～8:00PM
名古屋市守山区藤ヶ丘1-509 TEL 052-773-1515
www.shimizuya.co.jp